



FENCING PRESS

公益社団法人 日本フェンシング協会 Tel.03-3481-2378 info@fencing-jpn.jp



2015年 創刊準備号

Vol. 000

2015年11月29日発行

日本フェンシング協会がお届けする「FENCING PRESS」。フェンシングにおけるさまざまなトピックスをご紹介します。

● 太田雄貴選手 アジア人初「世界選手権」を制覇！



7月、ロシア・モスクワにて行われたフェンシング世界選手権に出場した太田雄貴選手（森永製菓）は、男子フルーレ個人において日本人初となる金メダルを獲得し、世界の頂点に立ちました。

先月のアジア選手権に続く優勝で、世界ランキングも2位に上昇。リオ五輪の個人出場権を大きく引き寄せる結果となりました。

世界ランキングトップ10を争う選手の半数は、フィジカルにおいて絶頂期にある若い選手たち。1日に何試合も行うフェンシングの大会において、ベテランの太田が決勝まで戦い抜くには体力的な厳しさも実感していると言いますが、今大会の決勝トーナメント全6戦では、持ち味である俊敏なステップワークと多彩な攻撃が随所に光り、他を圧倒。その技術は衰えを感じさせないものでしたが、今大会の勝因については「フェンシングを理解し始めたこと」と話します。「知力」で「体力」を凌駕できる。そしてそれはまだ入口と言うのですから、更なるレベルアップを期待せずにはられません。また10月から始まったばかりの新たなシーズン、五輪シーズンにもぜひご注目ください。

● 【フェンシングワールドカップ】エペ・見延和靖選手が日本人初の金メダル&高円宮牌開催



リオに向けても期待の高まる男子フルーレの、今シーズン第2戦「高円宮牌ワールドカップ2015」が11月6日より東京・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて開催されました。

当日は、日本フェンシング協会名誉総裁でおられる高円宮妃久子殿下へご来場を賜り、日本選手団が活躍。個人戦では太田選手が世界覇者にふさわしい勝ち上がりを見せながら、準決勝では許俊選手（韓国）に敗戦し銅メダル、また、東京五輪世代のエース・松山恭助選手（早稲田大）も22位に入る健闘で場内を沸かせました。

さらに、最終日に行われた団体戦では太田・千田（阿部長マーメイド食品）・松山・敷根（東亜学園高）という初のチーム編成での出場に。「イタリアチームに負けた経験がほぼ無い二人（松山・敷根）の活躍」と太田選手に評された通りの大活躍で格上のロシア、イタリアを見事に撃破し、5位入賞となりました。

そして、11月にはもうひとつ、日本史上初となるビッグニュースが。14日にタリン（エストニア）にて行われた男子エペのワールドカップにて、見延和靖選手（NEXUS）が日本人初の金メダルを獲得！！世界の頂点を決める決勝を戦った相手は、なんと宇山賢選手（三菱電機）！金・銀メダルを獲得しました。それぞれ世界1位、3位の相手を倒しての決勝進出はまさに快挙。見延選手は世界ランクを8位まで上げました。

男子エペも、団体戦ではリオ五輪出場をかけたポイントレースの真ただ中です。男子フルーレ、男子エペともに、団体戦は2016年2月までの残り2試合の結果により出場が決定します。ALLEZ JAPON!!!



(写真上) 左より男子フルーレ太田雄貴選手、千田健太選手、松山恭助選手、敷根崇裕選手
(写真下) 左より男子エペ宇山賢選手、サーシャコーチ、見延和靖選手



FENCING PRESS

公益社団法人 日本フェンシング協会 Tel.03-3481-2378 info@fencing-jpn.jp

● 全日本フェンシング選手権大会（団体戦・個人戦）開催のお知らせ



2015年の国内大会の締め括りはもちろん今年も全日本選手権です。日ごろ世界を転戦するトップ選手も、仕事と競技の両立を行う選手や現在は指導者としても活躍する選手も、全種目一堂に集まって、日本の頂点を競う熱戦を連日繰り上げます。個人戦の様子は、後日NHK BS-1にて放映がごさいます。

今年活躍したあの選手も、若手の有望選手たちも、ここで本気の戦いを見ますので、是非足をお運びくださいませ。

<大会概要>

【団体戦】 日程：2015年12月14日～16日（3日間）
会場：岩手県・一ノ関市総合体育館（Uドーム）

【個人戦】 日程：2015年12月23日～26日（4日間）
会場：東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

※各種目の日程などは日本フェンシング協会公式HP：
<http://fencing-jpn.jp> 内、国内大会情報欄にてご確認ください。

● JAPAN TEAM公式応援ソング・1 FINGER「Change The World」のPVを撮影！



JISSフェンシング場にて、次世代のケツメイシ・1 FINGERとフェンシングナショナルチームのPV撮影を先日行いました。メンバーもフェンシングに挑戦、そして、選手たちの前で歌を披露するなど盛り上がりました。選手からも「女性のラップってかっこいい！」など絶賛の声も。

1 FINGERの代表曲「Change The World」はフェンシングナショナルチームの公式応援ソングとして11月の高円宮杯に続き、12月26日の全日本選手権（駒沢）でもライブ形式で披露されます。

<楽曲情報>

1FINGER「Change The World」

（avex traxより発売中のミニアルバム『KTMusic』に収録）

● 西岡詩穂選手 2015 紀の国わかやま国体にて選手宣誓を務める



女子フルーレ日本代表・西岡詩穂選手（NEXUS）が先日開催されましたわかやま国体にて、全競技種目の地元選手を代表し「全力で競技することを誓います」と選手宣誓を行いました。

西岡選手は公式ブログにて「あそこまで緊張したのは今までにないと言うくらい緊張しました。出だし好調の選手宣誓でしたが、最後の最後に、間違えてしまうという大失態...やり直せるならやり直したい(T.T)」と振り返りましたが、立派に務め上げる様子全国の各メディアでも紹介されました。

大会には、47都道府県から約2万2000人の選手団が参加。気になるフェンシング各種目、部門の優勝チームは以下の通りです。

★成年男子フルーレ：東京都（阪野、林、福田）、★成年男子エペ：群馬県（伊藤、御供、見延）、★成年女子フルーレ：熊本県（緒方、菊池、森）、★成年女子サーブル：東京都（飯塚、井上、尾上）、★少年男子フルーレ：岐阜県（伊藤、鈴村、渡邊）、★少年女子フルーレ：和歌山県（東（晟）、東（莉）、巾下） ※選手名はすべて五十音順

勝利チームの皆さん、おめでとうございます！



FENCING PRESS

公益社団法人 日本フェンシング協会 Tel.03-3481-2378 info@fencing-jpn.jp

● 日本代表選手 オフィシャル写真を撮影



フェンシング日本代表はオフを利用して8月末に、日本代表選手27名で公式写真の撮影を都内にて行いました。やはりフェンシングですから、剣とマスクも駆使して、太田雄貴選手が考案した計5ポーズを2日間に分けて撮影。

ヘアメイク2名が各選手を担当し、カメラマンとしてJOC関連などでアスリートの撮影も多く経験されている竹見脩吾氏へご協力いただき、プロの技術によって各選手、普段より一層凛々しくカッコよいものに仕上がりました。写真は現在、日本フェンシング協会公式ファンサイト：<http://www.fencingfan.net> 内「注目選手」欄にて一部公開されているほか、協会公式ホームページ、広報物やカレンダー等で今後皆様にもご覧いただける予定ですので、どうかお楽しみに！

● 太田雄貴選手コラム連載①「継続は力なり」



日本フェンシング協会がメールマガジンを開始すると聞いて「コラムを担当します！」と宣言しました太田です(笑)。皆さんよろしくお願ひします。タイトルにしました「継続は力なり」。これは僕の座右の銘です。小学3年生のときに「ゲーム機を買ってあげる」という言葉に釣られて始めたフェンシングを、4300日間、1日も休まず続けることができたのは、父親に繰り返し言われたこの言葉のお陰です。

ここでは、すでに20年以上に渡る僕のフェンシング人生で見てきたこと、感じたことを正直に書いていきたいと思ひます。

10月から、公式ブログ (<http://ameblo.jp/1125-yukiota/>)も、週に1度を目標に更新中ですので、そちらもどうぞご鼻眞に。ではまた次号で！

● 日本代表選手リレーアンケート「一問一答」 *2016年創刊号より開始します。お楽しみに。

● 協会だより① 日本フェンシング協会 広報委員会より

本メールマガジンは、当面は不定期発行ですが、季刊を目途として創刊することとなりました。読みやすい内容となるように努めてまいりますので、宜しくお願ひ致します。

広報でよくお問い合わせをいただくのが、団体戦のオリンピックの出場権獲得の条件についてです。

団体戦は、毎大会入れ替わりで男女6種目中4種目が行われ、リオ五輪では男子フルーレ、男女エペ、女子サーブルとなります。その出場権は2015年4月3日～2016年4月4日のワールドカップ(W杯)などの成績により決定します。団体戦は、世界ランキング上位4か国に加えて、それ以外の各大陸の上位1か国ずつ(アジア・オセアニアは1枠で計4か国)の合計8か国がオリンピックへ出場できます。団体戦の出場権を得た国は、個人戦にも3名が出場できる特典があり非常に重要です。

いよいよオリンピック・レースも終盤を迎え、1枚目でもご紹介しました男子フルーレや男子エペなど、団体の出場権をかけて戦う残り2試合のW杯からは目が離せません。引き続き、応援のほど宜しくお願ひ致します！

<2016年1月～3月の各種目国際大会予定(五輪ポイントレース対象試合)>

	男子エペ	女子エペ	男子フルーレ	女子フルーレ	男子サーブル	女子サーブル
1月	21～23 W杯 (ハイデンハイ)	22～24 W杯 (バルセロナ)	15～17 W杯 (パリ)	15～17 W杯 (グダンスク)	29～31 W杯 (パドヴァ)	29～31 W杯 (アテネ)
2月	12～14 W杯 (バンクーバー)	12～14 W杯 (フェノスアイレス)	5～7 W杯 (ボン)	5～7 W杯 (アルジェ)	19～21 W杯 (ワルシャワ)	19～21 W杯 (サンニコラ)
3月	18～20 グランプリ (ブダペスト)	18～20 グランプリ (ブダペスト)	11～13 グランプリ (リウナ)	11～12 グランプリ (リウナ)	25～26 グランプリ (ソウル)	25～26 グランプリ (ソウル)